

## 命を守るために

中野島小学校 三年

佐竹 真緒

(敬称略)

わたしは、えがおが大好きです。家族や友だち、まわりの人のえがおを見ると、心がほっこりして、幸せな気持ちになります。なみだよりもえがおの多い、すてきな日々を一日でも多くすごしたいです。

毎朝ニュースを見ていて、いじめやじさつといった、つらくて悲しい出来事が、世界中にたくさんあるということを知りました。学校でも、いじめについて考えたり、話し合ったりすることがあります。日本でじっさいにあったいじめについて、先生からお話を聞きました。わたしと同じ年ぐらいの子が、学校から持ち帰ったタブレットを通じて、「うざい」「きもい」といった悪口を書きこまれたというふうでした。悪口を書きこまれた子は、いしよをのこして自さつしたと聞きました。命が大切にされなかった出来事を聞いて、いやな気持ちになり、悲しい思いでいっぱいになりました。また、だれかに気づいてもらえないところで、いじめが起こっているのだと知りました。

わたしが見えていないだけで、身のまわりにいじめがあるのかもしれないと思います、自分には何ができるだろうと考えました。そして四つのことを大切にすると心に決めました。

一つ目は、友だちが悲しんでいたら、そばにいてたくさん話を聞くことです。友だちの悲しい気持ちをふきとばすくらいの、大きな温かい気持ちで「だいじょうぶだよ」と声をかけたいです。

二つ目は、いろんな人と関わり、なかよくすることです。一人一人に、いいところがかならずあります。いいところをたくさん見つけて、関わる人みんなをすきになりたいです。

三つ目は、自分から悪口をけすことです。悪口は言った人も言われた人もいやな気分になります。一人一人ちがってあたり前で、いろんな人がいるから楽しいのだということをおすれずにいます。

四つ目は、自分からえがおであいさつをすることです。毎日、いろんな人がえがおであいさつをしてくれます。わたしが気分があまりよくないとき、友だちや先生がえがおであいさつをしてくれて、うれしかったです。えがおはまわりを明るくする大切な力だと気がつきました。

えがおがあればえがおがうまれると思います。世界で一番大切な命を守

るために、自分からえがおを広げていきたいです。このことをずっと大切に続け、明るく楽しい日々をみんなとつくりたいです。